

# みよし文化財だより

発行:文化財保護課(歴史民俗資料館) 電話 049-258-6655

「みよし文化財だより」は文化財保護課(歴史民俗資料館)が作成する不定期刊行物です

## 三芳とさつまいも ~紡がれる270年の歴史~



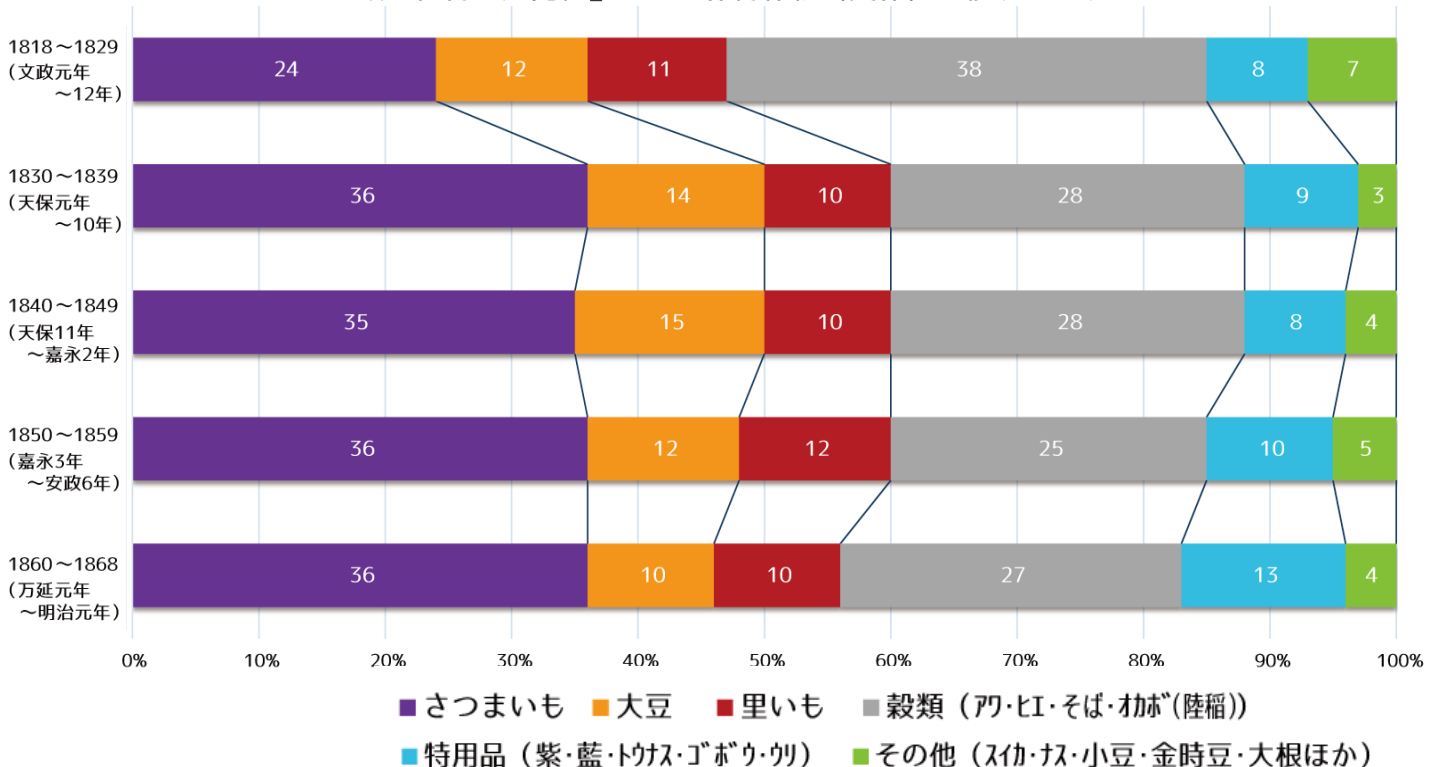
紀元前 8,000 年頃には中南米で栽培されていたさつまいも。長い年月を経て、日本には江戸時代の 1605 年に中国南部から琉球王国(沖縄)へ伝わりました。1732 年ウンカの大発生による享保の大飢饉が起きますが、さつまいも栽培が盛んだった薩摩藩の村々は餓死者が出ず、さつまいもは飢餓をしのげる「救荒作物」として世間に広く知られました。同じ頃、さつまいも栽培を奨励する『蕃諸考』を書いた青木昆陽は、幕府の命を受けて関東で試作を行い、成功。これを契機に、さつまいもと栽培方法が各地へ広まりました。

1751 年、南永井村の名主吉田弥右衛門は、息子を上総志井津村(千葉県市原市)へ遣わして種芋を購入。試作するとともに村人にも栽培を勧めたことから、近隣の村々にもさつまいもが伝わりました。今も続く「富の川越いも」の歴史は、こうして始まったのです。

### ■ 救荒作物から売れる作物へ

三芳に伝わったさつまいもは、1830 年~1843 年の天保年間に入ると作付けが増加します(下図参照)。実はこの頃、さつまいもの消費地である江戸で、焼きいもブームが起き

はたかたしつけたんべつおぼえちよう  
『畑方仕付反別覚帳』にみる作付作物(夏作)の移り変わり



※『畑方仕付反別覚帳』(資料館常設展示室に展示中)とは...

- ・上富の農家、武田家に残されていた文書
- ・1818 年~1878 年までの 61 年間、武田家の畑で作付けていた作物を 1 年の漏れなく毎年記してある
- ・時代とともに変化する農業経営の移り変わりを読み取ることができる貴重な史料

ていました。なかでも、川越周辺で作られた「川越いも」は人気が高く、本場物とされました。こうして、「救荒作物」として伝わったさつまいもは、次第に「売れる作物」として認知され、生産地である三芳の畑でも農業経営の主軸として作付面積が増えていきました。

### ■ 三芳で作られるさつまいも

2015年農林業センサスによると、埼玉県内でのさつまいも作付面積第1位は三芳町です（右表参照）。面積では大規模生産地である鹿児島県や茨城県、宮崎県などには及びませんが（埼玉県の作付面積は全国12位『農林業センサス累年統計（2015）』）、様々な品種を栽培していることが三芳町の特徴です。どのさつまいもも食感や甘さが異なり、同じ焼きいもでもおいしさに違いがあります。いくつもの品種を食べ比べて自分好みのさつまいもを見つけられるのも、三芳町ならではの魅力です。

埼玉県内のさつまいも作付面積

順位	市町村	面積
1	三芳町	30ha
2	川越市	16ha
2	さいたま市	16ha

『2015年農林業センサス』

### ■ 『三芳町川越いも振興会』の誕生

江戸時代に始まり、明治・大正・昭和と続いてきた三芳でのさつまいも栽培。平成に入ると、直売産地としての地域ブランド確立とベニアカの保護育成を目的に、1992年『三芳町川越いも振興会』が発足。統一デザインののぼり旗と出荷用ダンボールを作成し、2004年には上富地区で生産されたさつまいもを「富の川越いも」として商標登録しました。こうした活動や、伝統農法を守り農業収益の向上や環境保全を実現するこれまでの取り組みが高く評価され、2015年には「第54回農林水産祭 むらづくり部門」で天皇杯を受賞しました。



### ■ 紡がれていく三芳とさつまいもの歴史

『三芳町川越いも振興会』の活動により、今では上富地区で生産したさつまいもの約8割が直売されています。自分で決めた価格で販売することでモチベーションアップにつながり、市場出荷よりも収入が得られるなどの理由から上富地区の農家は後継者が多く、65才未満の農業就業人口の割合は、全国39%に対して66%と非常に高い状況です。

近年はさつまいもを使った商品開発も進められ、いも焼酎をはじめ、羊羹、スイートポテト、干し芋など様々な品物が販売されており、大手パンメーカーやお菓子メーカーとの共同開発商品もスーパーやコンビニで季節限定販売されています。また、2012年に創設された町の観光産業課では、さつまいもをキーワードとした観光促進事業を農家とともにやっているほか、地域でもさつまいも農家の女性陣が中心となってマルシェが開催されるなど、さつまいもを核とした様々な取り組みが行われています。

約270年前に伝わり、今や三芳町の特産品となったさつまいも。その歴史は時代にあわせて進化・発展し、これからも新たな1ページが紡がれていきます。（文：大久保）